

機械器具(06) 呼吸補助器
管理医療機器 酸素投与キット 12855000

アトム酸素供給チューブ

再使用禁止

【警告】

- 1) 本品の使用前に、酸素供給回路に閉塞等がないか、必ず確認すること。
[重症事故や死亡事故を招く恐れがあるため。]
- 2) 使用中は常に患者の状態を監視し、回路の外れや閉塞等に充分注意すること。
- 3) 接続の合わない機器には使用しないこと。
[酸素漏れを招く恐れがあるため。]

【禁忌・禁止】

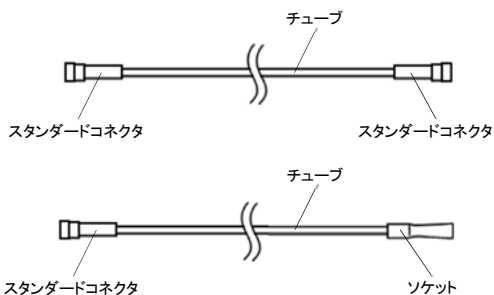
- 1) 再使用禁止。一患者限りの使用とすること。
- 2) 本品をいかなる方法であれ滅菌しないこと。
- 3) 本品を使用している近くでは火気厳禁とすること。
[爆発や火災の原因となるため。]

【形状・構造及び原理等】

1. 各部の名称

- ・本品は、ポリ塩化ビニル(可塑剤:フタル酸ジ(2-エチルヘキシル))を使用している。
- ・構成部品は、補充のためそれぞれ単品で流通する場合がある。

＜酸素供給チューブ(代表例)＞

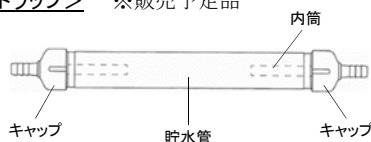


＜コネクタ(代表例)＞

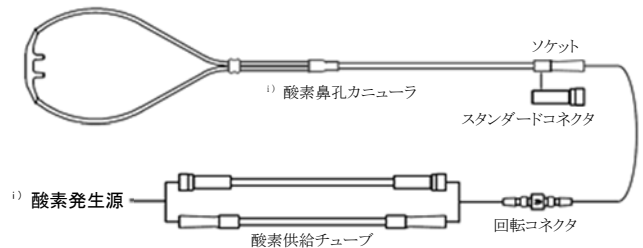


＜ウォータートラップ＞

※販売予定品



・接続例



i): 本品の内容には含まれない。

2. 原理

酸素供給源と患者側末端(酸素鼻孔カニューラ、酸素マスク等)の接続を仲介し、酸素供給回路を延長することで患者に酸素を供給する。

【使用目的又は効果】

本品は酸素供給チューブ、コネクタ、ウォータートラップを含むキットであり、酸素供給回路の延長に用いる。

【使用方法等】

- 1) 本品を使用する前に、包装及び本品に汚れ、破損等がないことを確認する。万が一、異常が認められた場合は使用せずに廃棄すること。
- 2) 酸素供給チューブの一端を酸素供給源(酸素濃縮器等)に接続し、もう一端を酸素鼻孔カニューラ、酸素マスク等(以下、カニューラ等)に接続する。このとき、必要に応じてウォータートラップを酸素供給回路内に介在させ、回路内に貯留する水分を収集する。
- 3) 酸素供給チューブと酸素供給源、カニューラ等の接続口が同形状(メス型)である場合は、コネクタを使用してそれらを接続する。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- 1) 接続を意図する機器のみと接続すること。
- 2) 包装の開封後、すぐに使用すること。
- 3) 過度の力を加えたり、無理な使用をしないこと。
[本品の破損の原因となるため。]
- 4) 接続部及び内部を清潔に保つこと。
- 5) 酸素供給チューブのチューブを折り曲げたり、ねじったりしないこと。
[破損・閉塞の原因となるため。]
- 6) ウォータートラップ使用前に、両端のキャップが緩んでいないことを確認すること。
[使用中に水漏れが起こる原因となるため。]
- 7) ウォータートラップは、回路全体で最も低い位置に水平に静置すること。
[斜めや垂直に使用すると、溜まった水分が回路内へ流れ出すことがあるため。]
- 8) 使用中は、水分の貯留状態を適宜確認し、必要に応じキャップを外して排水すること。また、このとき感染に充分注意すること。
- 9) ウォータートラップの排水は、必ず溜まった水が内筒の高さに達する前に行うこと。
[溜まった水が内筒まで達すると、回路内に逆流する恐れがあるため。]
- 10) 排水後は、外したキャップを再度しっかりと締めて取り付けること。
[キャップが緩んでいると、酸素漏れ、水漏れの原因となるため。]
- 11) 使用中は、漏れ、外れ等がないことを定期的に確認すること。
- 12) 本品を踏んだり、ものを載せたりしないよう注意すること。
[回路の閉塞やコネクタ、ウォータートラップが破損する原因となるため。]

- 13) 酸素供給チューブを酸素供給源等から外す場合、チューブ部分を持たず、ソケット又はスタンダードコネクタを持って外すこと。
- 14) 使用後は、医療廃棄物として適切に処理・廃棄すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水ぬれに注意し、高温多湿、直射日光を避けて保管する。

＜有効期間＞

使用期限は外箱に記載〔自己認証データによる〕

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

■製造販売業者

アトムメディカル株式会社

〒338-0835 埼玉県さいたま市桜区道場 2-2-1

TEL:048-853-3661(大代表) FAX:048-853-0304(代表)